新 旧 対 照 表(案)

公立大学法人横浜市立大学中期計画 (第2期)

現 行

公立大学法人横浜市立大学中期計画(第2期) (平成23年4月1日~平成29年3月31日) (全文) -省略-

I大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための取組

Ⅰ-1教育に関する取組

<教育ポリシー> -省略-

- 1 全学的な取組 -省略-
- 2 学部教育に関する取組 -省略-
- 3 大学院教育に関する取組

<大学院共通>

(1) 生命医科学分野の再編

生命医科学分野の世界的レベルの研究拠点となることを目指し、大学院の医系・理系を中心とした**再編を実施する。**再編に合わせ、教育研究の活性化を図るため、他大学との連携についても検討する。

<都市社会文化・<u>生命ナノシステム科学・国際マ</u>ネジメント研究科>

(1) コースが再編された学部・大学院の一貫性 ある教育内容の実施

都市系・理系・マネジメント系に再編した大学院と、コースを再編する国際総合科学部の教育を連結させた学部・大学院一貫の教育体制について検討を行う。

(2)都市の課題解決への対応等を視点にしたカリキュラムの改善・充実 【地域貢献】【国際化】

都市社会文化研究科においては、都市問題に実 践的に取組んでいける人材の育成を目指す。

生命ナノシステム科学研究科においては、木原生物学研究所等が有する貴重な資源や、理化学研究所をはじめとする他の教育研究機関との連携大学院において創出する高い科学・技術を活用し、ライフサイエンスの進展に寄与する人材の育成を目指す。

変 更 後(案)

公立大学法人横浜市立大学中期計画(第2期) (平成23年4月1日~平成29年3月31日) (全文) -省略-

I大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための取組

I − 1 教育に関する取組

<教育ポリシー> -省略-

- 1 全学的な取組 一省略一
- 2 学部教育に関する取組 -省略-
- 3 大学院教育に関する取組

<大学院共通>

(1) 生命医科学分野の再編

生命医科学分野の世界的レベルの研究拠点となることを目指し、大学院の医系・理系を中心とした再編に合わせ、教育研究の活性化を図るため、他大学との連携についても検討する。

< 都市社会文化・**国際マネジメント・生命ナノシ ステム科学・生命医科学研究科**>

(1) コースが再編された学部・大学院の一貫性 ある教育内容の実施

都市系・マネジメント系・理系に再編した大学院と、コースを再編する国際総合科学部の教育を連結させた学部・大学院一貫の教育体制について検討を行う。

(2) 都市の課題解決への対応等を視点にしたカリキュラムの改善・充実 【地域貢献】【国際化】

都市社会文化研究科においては、都市問題に実 践的に取組んでいける人材の育成を目指す。

国際マネジメント研究科においては、海外、特にアジアに進出する企業の海外展開を戦略的に支援できる人材の育成を目指す。

生命ナノシステム科学研究科においては、木原 生物学研究所等が有する貴重な資源や、理化学研 究所をはじめとする他の教育研究機関との連携大

現 行

国際マネジメント研究科においては、海外、特にアジアに進出する企業の海外展開を戦略的に支援できる人材の育成を目指す。

以上の目標に向けた教育研究を実施する中で、 教員・学生の評価等をもとに、カリキュラムの継 続的な見直しや適正な入学定員の検討を実施し、 研究科の改善・充実を図る。

-以下本文省略-

【別表1】地域貢献に関する目標を達成するための 取組

一前文省略一

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成する I-1教育に関する取組 ための取組 1 全学的 (2) 地域貢 -省略-な取組 献や国際化に 繋がる教育研 1 究の充実【地域 貢献】【国際化】 2 学部教 (1) 新教室 -省略-育に関する の設置および 教室再編など 取組 医学部(医 学部教育の改 学科·看護 善・充実 【地 学科) 域貢献】 (2) 医師不 一省略一 足診療科など 3 を考慮した教 育の充実【地域 貢献】 3 大学院 都市社会文化研究 (2)都市の 教育に関す 課題解決への 科においては、都市 問題に実践的に取組 る取組 対応等を視点 4 にした カリキ んでいける人材の育 都市社会文 ュラムの改 成を目指す。 生命ナノシステム 化・生命ナ 善・充実 【地 科学研究科において 域貢献】【国際 ノシステム

変 更 後(案)

学院において創出する高い科学・技術を活用し、 ライフサイエンスの進展に寄与する人材の育成を 目指す。

以上の目標に向けた教育研究を実施する中で、 教員・学生の評価等をもとに、カリキュラムの継 続的な見直しや適正な入学定員の検討を実施し、 研究科の改善・充実を図る。

(3) 理学と医学を融合した基礎研究から応用研究までの幅広い知識と視野を有する人材の育成と世界的レベルの研究拠点の形成【地域貢献】

生命医科学研究科においては、原子・分子レベルにおける定量的な知識、及び技術を基盤とし、 医科学への応用展開力を身につけた人材の育成を目指す。

-以下本文省略-

【別表1】地域貢献に関する目標を達成するための 取組

一前文省略一

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成する I-1教育に関する取組 ための取組 1 全学的 (2) 地域貢 -省略-な取組 献や国際化に 繋がる教育研 1 究の充実【地域 貢献】【国際化】 2 学部教 (1) 新教室 -省略-育に関する の設置および 取組 教室再編など 医学部(医 学部教育の改 学科·看護 善・充実 【地 学科) 域貢献】 (2) 医師不 -省略-足診療科など 3 を考慮した教 育の充実【地域 貢献】 都市の 3 大学院 (2)都市社会文化研究 教育に関す 課題解決への 科においては、都市 問題に実践的に取組 る取組 対応等を視点 4 にした カリキ んでいける人材の育 都市社会文 ュラムの改 成を目指す。 化・**国際マ** 善・充実 【地 国際マネジメント ネジメン 域貢献】【国際 研究科においては

現 行	変更後(案)			
科学・国際 マネジメン ト研究科 に は 、木原生物学研究 所等が有する貴重な 資源や、理化学研究 所をはじめとする他 の教育研究機関との 連携大学院において 創出する高い科学・ 技術を活用し、ライ フサイエンスの進展 に寄与する人材の育成を目指す。 国際マネジメント 研究科においてに 展開を戦略的に支援 できる人材の育成を 自指す。 以入村の育成を 自指す。 以入村の育成を 自指す。 以入村の育成を 自指す。 以大学にのはたる の神で、教員とに、カリキュラムの継続の な見直しや適正な入 学定員の検討を実施 し、研究科の改善・ 充実を図る。	ト・生命ナ			
	(3) 理学と医学を融合した基礎研究から基礎研究から応用研究までの幅広い知識と視野を有する人材の育成と世界的レベルの研究拠点の形成【地域貢献】 生命医科学研究科においては、原子・分子レベルにおける定量的な知識、及び技術を基盤とし、医科学への応用展開力を身につけた人材の育成を目指す。			
【別表2】国際化に関する目標を達成するための取組 ー前文省略-	※以下項番 5 から 15 を、6 から 16 に繰り下げる 【別表 2 】国際化に関する目標を達成するための取 組 一前文省略-			
国際化に向けたミッションステートメントの4つの 柱に沿った計画	国際化に向けたミッションステートメントの4つの柱に沿った計画			
1 教育の国際化 I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成する	1 教育の国際化 I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成する			
ための取組 I - 1 教育に関する取組 1 全学的な取組 (2) 地域貢献や国際化に繋がる教育研究の充実(横浜	ための取組 I - 1 教育に関する取組 1 全学的 な取組 (2) 地域頁 献や国際化に繋がる教育研究の充実(横浜			

	現行		変更後(案)			
	市内をはじめ とする教育研 究機関との連 携等) 【地域 貢献】【国際化】				市内をはじめ とする教育研 究機関との連 携等) 【地域 貢献】【国際化】	
2 学部教 育に関する 取組 2 共通教養	(1) 国際社 会で活躍でき る人材の育成 を目指した共 通教養 教育の 改善・充実【国 際化】	一省略一	2	2 学部教育に関する取組共通教養	(1) 国際社 会で活躍でき る人材の育成 を目指した共 通教養 教育の 改善・充実【国 際化】	一省略一
3	(3)国際的に 活躍できる人 材育成に向け た教育の国際 化推進 【国際 化】	一省略一	3		(3) 国際的に 活躍できる人 材育成に向け た教育の国際 化推進 【国際 化】	Н РЦ
都市社会文 化・生命テム 科学・国際 マネジメト ト研究科	(2) 都市の課題解答の対応の対応に、1 を 対応等を カの は は は は は は は は は は は は は は は は は は	科問ん成 科は所資所の連創技フに成 研海展展で目以教中評リな学し充 部に題でを生学、等源を教携出術サームで第一次のでは、 大は、に材 スお学貴学す関連を 大は、に材 スお学貴学す関連を 大は、に材 スお学貴学す関連を 大は、に材 スお学貴学す関連を 大は、に材 スお学貴学す関連を 大は、に材 スカインはでは、 大は、に対 スカインはでは、 大は、 大は、 大は、 大は、 大は、 大は、 大は、 大	4	都化 <u>ネ</u> トノ科医科 ボージ・シ学科 医科 エス・学学 エス・学子 エス・サム命究	(2) 都市の課題解決ののは、	和問ん成 研海展展で目 科は所資所の連側技フに成以教中評リな学し充化、に材 メイジのに育 スお学貴学すりまれ、の材 に関係を 当 1 生学、等源を教携出術サ 1 を 1 を 1 との適計のの では、に材 メイジのに育 スお学貴学すり、の材 に 1 に 1 に 1 を 2 に 1 を 3 で 4 を 3 で 5 で 6 で 7 で 7 で 7 で 7 で 8 で 7 で 7 で 8 で 7 で 8 で 7 で 8 で 7 で 8 で 7 で 8 で 7 で 8 で 7 で 8 で 7 で 8 で 7 で 8 で 8
一以下省略一				-以下省略-	-	